

## 令和6年度 第2回学校評価アンケート集計結果

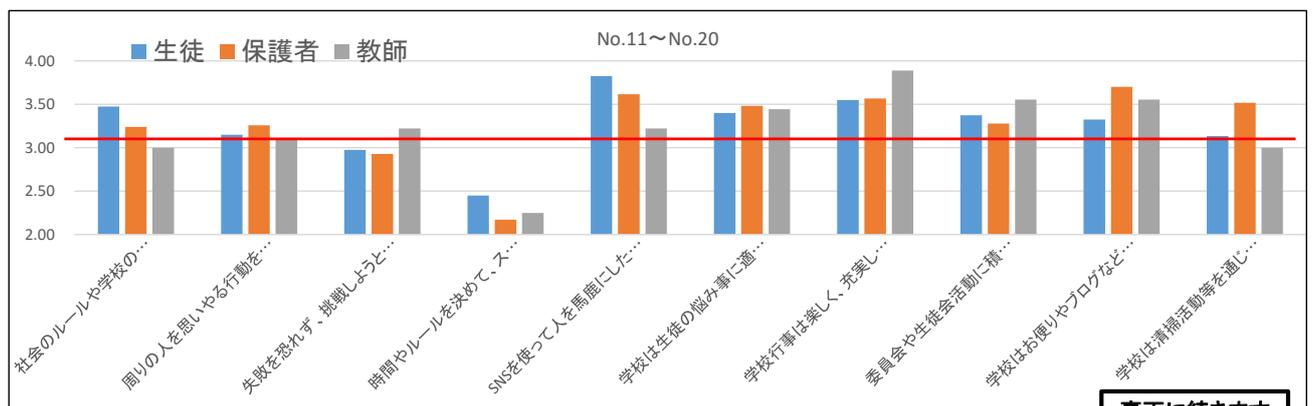
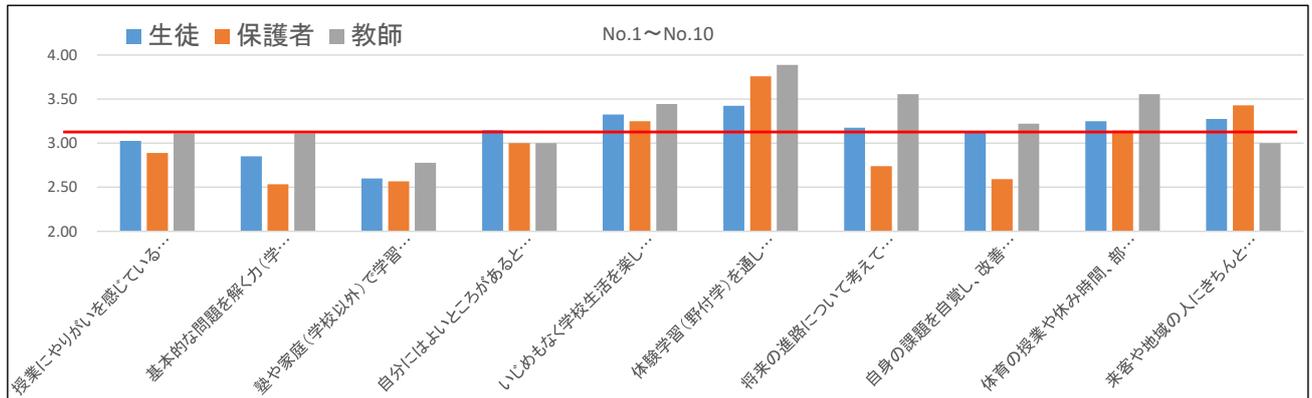
(令和6年12月実施 令和7年2月現在)

◆数値は各項目について4段階評価した平均点。

(4：よくあてはまる 3：ほぼあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない ?：よくわからない)

◆平均点が「3」を超えていたら、概ね満足と評価できる。

評価項目		質問項目	生徒	保護者	教師	平均	前回
未来を切り拓き、生徒の育成	知育	1 授業にやりがいを感じている(と言っている)	3.03	2.89	3.11	3.01	3.08
		2 基本的な問題を解く力(学力)が身についている。	2.85	2.53	3.11	2.83	2.92
		3 塾や家庭(学校以外)で学習に取り組んでいる。	2.60	2.57	2.78	2.65	2.62
	徳育	4 自分にはよいところがあると感じている。	3.15	3.00	3.00	3.05	3.03
		5 いじめもなく学校生活を楽しいと感じている。	3.33	3.25	3.44	3.34	3.40
		6 体験学習(野付学)を通して、故郷に貢献しようとする気持ちが育っている。	3.43	3.76	3.89	3.69	3.63
	体育	7 将来の進路について考えている。	3.18	2.74	3.56	3.16	3.09
		8 自身の課題を自覚し、改善するように努めている。	3.13	2.59	3.22	2.98	3.03
		9 体育の授業や休み時間、部活動などを通じて、体力の向上に努めている。	3.25	3.14	3.56	3.32	3.39
野付学区CS	4つの願い	10 来客や地域の人にきちんと挨拶ができる。	3.28	3.43	3.00	3.23	3.10
		11 社会のルールや学校のルールを守って生活している。	3.48	3.24	3.00	3.24	3.21
		12 周りの人を思いやる行動をとっている。	3.15	3.26	3.11	3.20	3.17
		13 失敗を恐れず、挑戦しようとしている。	2.98	2.93	3.22	2.95	2.90
	メディア	14 時間やルールを決めて、スマホやタブレットを利用している	2.45	2.17	2.25	2.29	2.38
15 SNSを使って人を馬鹿にしたり、傷つけたりするようなことはしていない。	3.83	3.62	3.22	3.55	3.42		
その他	16 学校は生徒の悩み事に適切に対応している。	3.40	3.48	3.44	3.44	3.37	
	17 学校行事は楽しく、充実した活動になっている。	3.55	3.57	3.89	3.67	3.67	
	18 委員会や生徒会活動に積極的に参加している。	3.38	3.28	3.56	3.40	3.44	
	19 学校はお便りやブログなどで、学校や生徒の様子を紹介している。	3.33	3.70	3.56	3.53	3.59	
	20 学校は清掃活動等を通じて、校内外の環境整備に気をつけている。	3.14	3.52	3.00	3.22	3.25	



裏面に続きます

## 【アンケート記述内容と回答】

### ＜保護者記述内容＞

- ①全体的に授業に集中して取り組める環境なのか気掛かりなこともあります。先生方が、日頃生徒達に学習態度など指導してもらっていますが、実際は今何が先生方の中で問題になっていて、生徒達には何が欠けているのかが不透明で、学校がよりよい環境になるには、保護者はどうしたら良いのかが見えてこなく不安です。子どもにも様々な注意をしますが、『きちんとやる人がやっても、やらない人や守らない人が多いと結局やってないと全員見なされてしまう。どうしたらいいかわからない』と言う事が多いです。諦め気味になる事が多く悩んでしまいます。
- ②いつもありがとうございます。
- ③学校のことでないのですが、家庭での生活習慣の乱れが気になっています。毎日、勉強の時間と好きなことをする時間のメリハリを付けて時間を気にしながら生活するようにってはいるのですが、なかなか出来なくて、どうしたら良いのか？とおもっています。
- ④中学校入学時は楽しい！中学生になって良かったと多く聞かれました。それが最近は無くなりました。先生と生徒の関係性や授業時間の雰囲気、周りの友人の態度や言動など些細な事が気になり、嫌な気持ちが多いようです。
- ⑤体調が悪くて登校時間が遅くなった時など寄り添った対応をしていただき感謝しています。先日学校へ伺った時に3年男子数名が笑顔で挨拶してくれました。自ら進んで挨拶が出来るのは素敵だなと思いました。
- ⑥生徒のスマホ使用に関して、学校での使用は禁止されているとの認識ですが、日常的に持ち込んでいる生徒がいることを耳にします。そのような生徒に対しては、今後さらに指導を強化していくことが求められるかと思えます。特に、休み時間などにスマホで動画を撮影しているとの話を聞いたことがありますが、そのような行動に関しては不安を感じている保護者の方もいらっしゃると思います。今後、スマホを持ち込まないよう、しっかりと指導していただけると安心です。
- ⑦受験が近づいてきた中で、教室の環境について不安を感じています。教室内の状況について、もう少し改善が進められないかという点で、真面目に学習に取り組んでいる生徒が集中できる環境を作るための配慮をお願いしたいです。例えば、別の場所で集中できるような特別な空間を設けるなど、受験を控えた生徒の学習環境に対する配慮があると、より一層安心できるのではないかと考えます。

### ＜本校としての回答＞

- ①授業に集中して取り組める環境づくりについて、本校は生徒一人ひとりが安心して学べる環境を整えることに努めており、特に学習態度や行動に関しては個別の指導やクラスでの対応を強化し、問題がある場合には早期に対応するようにしています。今後は、本校の課題とその改善策について適時ご家庭とコミュニケーションを取るとともに、学期ごとの懇談会や個別の面談を通じて情報を共有していきます。また、きちんと取り組んでいる生徒に対しては、その言動を評価するだけでなく、全体の場で好事例として取り上げるなど、他の生徒にも良い影響が出るようなフォードバックを活用していきます。
- ③ご家庭でのサポートを行っていただく中で、学校でも引き続き、時間管理や生活習慣について指導助言をしていきますが、具体的なアドバイスが更に必要であれば、いつでもご相談ください。個別に対応させていただきます。
- ④授業中の態度や周囲の言動に気になる点があれば、定期的なクラスでの話し合いや、個別の教育相談等を通じて、生徒が抱える悩みやストレスを軽減できる機会を積極的に設け、個々の生徒がどのような状況にあるかを把握し、問題があれば即時的に対応できるよう体制を整備していきます。
- ⑤自発的な挨拶は、学校全体の雰囲気を良くします。今後も子どもたちが心温まる環境で学び、成長できるよう努めていきます。
- ⑥本校では生徒のスマートフォンの持ち込みは禁止しております。今後もご家庭との連携を深めながら、生徒への継続的な指導を徹底するとともに、生活の決まりについて、改めて確認させていただきます。
- ⑦学校としては、全ての生徒が安心して学べる環境づくりを目指し、特別な配慮が必要な生徒に対しては、柔軟な対応を行うことを基本方針としていますが、集中して学びたい生徒の学習をより充実させるため、学習ペースや学習方法、学習場所など個別の学習ニーズに応じた支援を強化していきます。

## 【三者の比較からの考察と改善策】

「6 体験学習」、「15 適切なSNS利用」、「17 学校行事」、「18 生徒会活動」、「19 情報発信」については三者ともに高評価となりました。学校と家庭の連携を更に強め、今後も継続した指導を展開していきます。

一方、「2 基礎学力」、「3 学校以外の学習」、「8 自己指導能力」、「13 挑戦」、「14 メディアのルール」については、3.0を下回る結果となりました。特に「2 基礎学力」と「3 学校以外の学習」については、単元で必要とされる知識・技能の習得について生徒と共通理解を図り、自立した学びをねらいとした授業改善を図るとともに、子どもたちが、家庭でも探究心をもって学習に取り組みたいと思うような授業づくりを実践していきます。また、タブレットを持ち帰り、ご家族と一緒に課題に取り組めるような家庭学習の環境整備を目指していきます。

「8 自己指導能力」については、自身の学習に対する姿勢や生活態度について目標を立て、定期的に達成度を振り返る機会を設定し、自己評価や他者評価を取り入れながら、生徒の自己認識力や成長意識を高めていきます。

「13 挑戦」については、全校朝会のスピーチや認め合い活動（ピアサポート）などを通じて、生徒の自己有用感を高め、共感的人間関係の構築をねらいとする教育活動を展開していますが、今後も引き続き、子どもたちが認め合い、高め合えるような環境と雰囲気づくりに努め、「失敗しても大丈夫」という学級・学校風土づくりを目指すとともに、成功体験や達成感が味わえるような機会を設定していきます。

「14 メディアのルール」については、**家庭のご協力が不可欠**です。SNS利用や動画鑑賞等、長時間メディアツールを使用することは、学力向上の妨げになることが各種研究機関のデータによって実証されています。野付小学校では、授業参観日にメディア利用について親子でルールを確認する場を設けており、今後は中学校においてもそのような取組の実施を検討していきますが、今一度ご家庭内で、メディアツールの使用時間と適切な使い方について約束事を確認するなど、ぜひとも話題にさせていただきますようお願いいたします。

その他、「1 授業のやりがい」、「7 将来の進路」、「20 環境整備」については、三者の評価にズレが見られます。学校のねらいが一方通行とならないよう、子どもたち・ご家庭との対話を大切に、合意形成を図りながら教育活動を進めていきます。

### ＜改善策＞

#### 【学習面】

##### ①基本的な問題を解く力を身につけるためのサポート

- ・各種学力調査の結果を活かした授業改善（苦手分野の把握と対策）を実践します。
  - ・再テストや課題提出のサポート、家庭学習応援teacher制度など、個に応じた学習指導を継続します。
  - ・ICT（一人一台のタブレット）を活用した個に応じた指導の充実及び家庭での学習で活用できる環境を整備します。
  - ・「基本的な問題を解く力が身につけている」かどうかについて、生徒・保護者と情報を共有し、共通認識を図ります。
- ⇒基礎学力の明確化を図る。（各教科のテストで基礎基本の問題に判断材料として印をつけるなど）  
⇒テストのリフレクション（振り返り）を活用して基礎問題の定着を目指します。

##### ②自主的な家庭学習の定着に向けて

- ・授業のまとめと振り返りの時間を活用し、家庭学習でやりたいこと、やるべきこと、やり方を自分で考え、計画的に取り組めるよう継続的にサポートします。
- ・自学ノート紹介コーナーの取組を継続し、頑張りを認め合い、他者のよい取組から学び合うことで家庭学習の質の向上に役立てる。また、生徒への紹介の仕方や掲示方法の工夫をします。
- ・家庭でも学びたくなるような課題設定の工夫と授業づくりを推進します。
- ・生徒の家庭学習の取組について、保護者に学級通信や学校便り、ブログなどで発信していきます。

#### 【生活面】

##### ①メディアコントロール

- ・ご家庭の責任のもと、メディアツールの使用についてルールを合意形成した上で、子どもに使い方を委ねるよう学校からの啓発活動を継続していきます。
- ・教育相談やアンケートの結果から、定期的な指導助言や自身のメディアの使い方について考えさせる場面を設定し、自律した利用に向けたサポートを実践していきます。

##### ②チャレンジ精神の向上

- ・本人にあった役割を与え、「失敗しても大丈夫」「経験することから学べるものがたくさんある」という自己有用感を大切に、周囲のサポート力をUPする環境を適切に整えていきます。
- ・生徒の学習や生活における取組の好事例などを掲示し、積極的に子どもたちの活躍を評価し可視化することで、自己肯定感を高め、自主的に取り組もうとする心を育てていきます。